

新たな歴史を創る

中央中学校生徒会本部は「中央G・P・L・Y」を活動スローガンとして、日々精力的に活動しています。Pride、Love、Yourselfの頭文字をとった「PLY」には、「誇りをもって地域に愛される学校をあなた自身で創る」という意味が込められています（また、PLYには仕事に精を出すという意味もあります）。昨年度から「PLY」に「G」が加わりました。「G」には、「挨拶（Greeting）が活発な中央中」、「生徒一人一人全員が手を取り合い、一つの集団（Group）となって活動している」という二つの意味があります。



これまでの活動の成果の一つとして、中央中のマスコット

キャラクターと中央中生徒会のスローガンの決定が挙げられます。全校生徒からの公募と投票により、中央中のマスコットキャラクター「チュウ王」が誕生しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、学校行事やその他の活動が制限されてしまったことを踏まえ、令和5年度生徒会スローガン「新たな挑戦」私たちで創る中央中」を制定しました。校舎には「チュウ王」とスローガンが書かれた横断幕が設置されました。



これからも中央中は、生徒が主役となってさまざまな活動を続けていきます。保護者の皆さま、地域の皆さま、中央中学校により一層変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



市長コラム
「価値ある未来を、共に」



政策室
 問合せ ☎982-5112 FAX 981-5392

未来へのバトン

▼この日は夏休み恒例の、子供達による「一日市長」！今年も、関小学校6年生の本田さん、北谷小学校6年生の立原佑都くんが一日市長を務めてくれました！▼元気な笑顔のくさんと佑都くん。委嘱式では少し緊張気味でしたが、その後の庁内視察では、マインバーのこと、農業のこと、子育て支援のこと、知事選挙のことなど、それぞれの担当課長にしっかりと質問しながら現状を把握。その後は議場で市長席に座り、議会を体験しながら吉川市の「まちづくり」の仕組みを学びました▼戸張教育長へ元氣にごあいさつしたあとは、吉川市のさまざまなお仕事、事業の展開を判断する「決裁」。一つ一つの案件の説明をしっかりと聞き、市長印を押します。そして息つく暇なく現場視察へと出発▼視察のテーマは「インクルーシブ公園」について。「インクルーシブ公園」とは、障害の



有無にかかわらず、すべての子供達が楽しく一緒に遊べる公園であり、現在、吉川市でも整備を計画しています。視察先の先進事例地の公園では、実際に遊具を使用したり、園内を歩いて検討。「一日市長」である2人の考えやアイデアは今後の計画に反映されます▼分刻みのスケジュールをこなした2人は「とても疲れた！」「大変だった！」と口にしながらも、「たくさんの方が働いてくれておかげで吉川市が成り立っているのだと分かった」「一つの事業をみんなで真剣に取り組み、まちづくりが進んでゆくのだと知ることができた」と感想を述べてくれました▼私からは、今後の吉川市の未来像や市長の役割や責任、そしてやりがいについてお話ししましたが、2人にとってこの「一日市長」の経験が、自分達の郷土である「吉川市」をより深く知り、より好きになるきっかけとなってくればとても嬉しいことです。くさん、佑都くんお疲れさまでした！また会える日を楽しみにしています！

